

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	児童生徒医療費助成事業		コード	担当課係	保険医療
			02-01-01-14	担当者	吉田 佳奈子
事業実施期間	H18.4~		電話	64-1819	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	子育て支援			
	施策	医療費助成制度の充実			

事業について	
目的	児童生徒に係る医療費の一部を保護者に助成することにより、子育て支援に資する
対象 (誰のために)	小学生及び中学生をもつ保護者
内容	保険診療での自己負担額のうち一人につき一ヶ月3,000円以上を超えた部分について助成(ただし入院については保険診療での自己負担額全て助成)

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
医療費支給件数	0 件		
医療費支給額	0 円		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	263	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	740	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,003	一般財源等	1,003	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.10	人		人
結果指標名	制度利用者数			
結果指標量	医療費支給件数			
単位	件			
対前年比	-			
事業費	円		円	
単位当たりコスト①	円		円	

結果指標名	制度利用額			
結果指標量	医療費支給額			
単位	円			
対前年比	-			
事業費	円		円	
単位当たりコスト②	円		円	

事業の成果			
成果指標名	一人月当たり支給額	式又は説明	医療費支給額/医療費支給件数
成果指標量	17年度 実績なし		
対前年比	実績なし	#VALUE!	
到達目標値	3,000円	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	子育て支援の施策として実施する自己負担定額制をとることにより多受診等のいたずらな医療費増大を防止し、保護者である対象者に子育て意識を醸成する。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	申請の受付から医療費助成金の給付にいたる事務手続きを簡素化し、既存の乳幼児医療費助成システムの改良で、給付処理を行えるよう、システム開発から効率化を図れた。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	市民ニーズの妥当性	広報誌や学校を通じて制度の説明をしている
	手段の最適化	
	職場の効率化	
市民参画度	目的達成度	
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分 <A~E> C
	事業の開始は平成18年度より。平成17年度は施行に伴うシステム変更のみ。18年度以降は一人月3,000円の自己負担定額制であるが、この助成により児童生徒の保護者の医療費負担が半減されることを目標とする。	

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	4,000件	結果指標量②	12,000,000円
目標値	成果指標量	3,000円/件	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	制度の周知徹底を図る	随時	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。